

104 トラフズク

(フクロウ目)

Asio otus

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

北アフリカからヨーロッパ、アジア、カナダ西部からメキシコ北部などで繁殖する。繁殖後は、一部は繁殖地周辺に生息するが、多くは温帯域に渡る。日本では北海道と本州北部で繁殖し、本州中部以南で越冬する。平地から低山がよく繁った林に生息する。冬は単独か小群で山麓の森や広い農耕地、河川敷の藪、竹林などで休み、夜になると農耕地でネズミ類やモグラ類、小鳥類などを捕食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中・南西部、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、草垣群島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、南鳥島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、宝塚市、高砂市、小野市、丹波篠山市、加東市、たつの市、播磨町



写真提供：北野光良

(性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○				○	○		○



写真提供：友田達也

(性別：不明)

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に11-翌3月に生息する。夜行性で観察が難しいため、記録は少ない。県内には繁殖記録はないが、1979年6月には小野市青野ヶ原で2羽が記録されている。現在は主に冬に北方からの移動個体が渡来するが、個体数は極めて少ない。

保護上の留意点

河川敷周辺の採餌環境となる草地とともに、ねぐらとなる河畔林の保全が重要。